

令和6年度 環境学習アドバイザーを活用した環境教育の取組例

◇環境学習アドバイザー：土井 浩 氏

◇学校名：有田川町立石垣小学校

◇学年：3，4年

◇教科：理科・総合的な学習の時間

◇テーマ：磯観察をしよう

◇学習のねらい

- ・磯観察をして干潟の生き物の種類や特徴を知り、現状(環境問題など)について考えさせる。

◇学習の流れ

★：環境学習アドバイザー派遣を活用した授業

校時	学習の主な活動	指導のポイント
1★	実際に片男波で磯観察をする。	<ul style="list-style-type: none">・環境学習アドバイザーに磯観察をする時のポイントなどを教えてもらう。・干潟の生き物の名前を環境学習アドバイザーから教えてもらう。
2★	干潟の生き物の種類や特徴を知り、現状(環境問題など)について考える。	<ul style="list-style-type: none">・環境学習アドバイザーに干潟の生き物の種類や特徴を教えてもらう。・環境学習アドバイザーの説明を聞き、現状(環境問題など)について考えさせる。

◇実施時期：5月

◇成果

- ・土井先生から、海の生き物や磯観察のポイント、昔の磯での遊びや現在は環境整備がされたことなどを、丁寧に教えてもらった。また、児童の質問に対しても優しく答えてもらった。児童からは、「知らない生き物を教えてもらってうれしかった。」「クラゲを見ることができた。触ってもいいクラゲもあることを知ることができた。」「カニの見つけ方を知ることができてよかった。」などの感想があった。また、「この体験を今後に活かしたい。」との感想もあり、これからの教育活動や調べ活動に活かそうとする意欲の表れもあり、大変効果的な学習であったと感じる。

◇実施の様子(写真)

